

「言語学と数理・統計・モデリング」シ
ンポジウム
2018年2月2日(金)
TKP東京駅大手町カンファレンスセン
ター ホール

コメント

大学共同利用機関法人人間文化研究機構
国立国語研究所 所長
田窪行則

自己紹介

- 京都大学言語学学部、修士、博士課程
- 統語論、語用論、意味論が専門。
- 1990年-2016年 九州大、京都大で言語学教育
- 長尾真先生、辻井潤一さんなどの言語処理研究者と共同研究
- 2006年から琉球諸語のフィールドワーク
- 2015年から五十嵐氏（一橋大）などと比較言語学研究
- 2017年10月から国語研所長
- 統計、言語処理、数理に関しては素人
- この場では素人の代表としてふるまうことを期待？

言語学と統計

- 日本の言語学講座で数理・統計の講義がなされたことは（あまり）ない。心理学、社会学ではかならず統計の授業がある。

例外 東京女子大 水谷静夫ゼミ

- 言語学講座には理学部から転部してくる学生がすくなくからずいるので、個人的、散発的に数学や統計の勉強会があったりする。
- 音声学を研究する学生は個人的に統計学の勉強をする。
- 社会言語学で統計学を利用する研究者も散発的にいる。Cf.東大言語、国語研など。
- 計量国語学会の存在：cf. 『データで学ぶ日本語学入門』

言語学と数理・論理

- チョムスキー理論が出てから、基本的な数理モデルを（個人的に）勉強する学生が出る。有限状態文法、文脈自由・文脈依存句構造文法など。それでも言語学講座では数学的な概説をすることはまれ。
- 生成文法は一部の特別な研究者を除いて現在数理モデリングとは乖離している。
- 言語習得などで数理モデルを使う若い研究者（おもにアメリカ留学組）がすこしではじめ。

言語学と論理

- モンテギューグラマーが出て、（内包的）論理意味論を使ったモデルを使う研究者が増えた。日本では、おもに論理学、哲学、工学的言語処理研究者＋少数の言語学者。
- 日本の言語学講座では形式意味論の授業が行われることはまれ。集中講義などで単発的に行われる。言語学講座に常勤の形式意味論研究者がいて、形式意味論の講義があるところはごく例外的。九州大学言語学講座、東北大、神戸松蔭女子大。

案外昔のほうが数理・論理と関係が

- 黒田茂幸氏 黒田標準形、Structural similarities of formal languages: A typological approach. In A. Manaster-Ramer (ed.), *Mathematics of Language*. 173-189. Amsterdam: John Benjamins. 1986g. A formal theory of speech acts. *Linguistics and Philosophy* 9. 495-524.
- 久野暁氏 ストカスティックパーザー

割と最近でも

理学部出身（理学博士）の言語学者もいる：郡司隆男氏、戸次大介氏（本人が自分をどうおもってるかは別）

なぜか数理に強い国語学者、言語学者：水谷静夫氏（東京女子大）、福井直樹氏（上智）、荻野綱男氏（日大）、金沢誠氏（国立情報学研究所）、前川喜久雄氏（国語研）、五十嵐陽介氏（一橋）、

これからどうなるか

?

?

?

?

?

これからどうしたいか

- 第一案 理学部言語学科を作る。
- 第二案 工学部言語学科を作る。
- 第三案 いまのままでよい。ただ、もうすこし学部や研究科の間の関係を改善する。
- 第四案 国語研に数理統計言語領域を作る。

村脇発表に対する質問

- Mergeを前提とした階層的な構造を前提とするかいなか。
Mergeを否定する結果になっていると面白い。
Mergeを指示する（あるいは矛盾しない）結果でもいい。

中国語など

SVO > SOV（一部） 言語接触の結果とされる

Rel=Head はSOV型なので、接触で普通になった。

そうでない場合どうなるか。

菊澤発表に対する質問

- 要するに当該言語をちゃんと知ってないといけないということでは。WALSを眺めてやるだけではなく、地道にちゃんとやるしかない？
- 内的再建でより古い時代のものを再建しないと同源構造は同定できない。
- そのようなデータをどうやってデータベースとして利用可能にするか。内的再建され、同定された同源構造と現在の形とをペアで格納する。

横山発表

- この研究はFrequencyと好みのデータがあればどんな分野でも応用できそう。漢字の異体字以外にどのような応用がかんがえられるのか？